

保育園の待機児を解消するために、国は基準を緩くしました。

子どもの保育環境をよくして、なおかつ多くの保育園希望者の要望をかなえることができるというですね。8月25日の新聞報道によると、志木市では、小学校低学年のクラス定員を25名（国の基準1クラス40名）にすることを発表しました。

年齢の小さな子どもには、きめこまやかな大人の世話や愛情が必要です。児童虐待、少年事件といった報道から、子育ての環境が地球環境と同じように悪くなっていることがわかります。嵐山町の子どもへの環境、どんな感想をおもちですか。今の施設を改修したり、ソフト面での充実を行うことで、子どもの環境は良くなります。

嵐山町では、北部では、若草保育園に子育て支援センターがあります。南部の人にも利用しやすい地の利で、嵐山幼稚園、あるいは小人数学級が実現しても、教室数に余裕のある志賀小学校の空き教室を利用して、子育てのための施設をつくって対応できるのではないかと思います。



学校名	子ども数	教室数	学級数	空教室	空教室の利用法
菅谷小学校	547	26	19	7	会議室・教材室・資料室・児童会室等
志賀小学校	214	17	8	9	多目的室・郷土資料室・ランチルーム等
七郷小学校	231	13	9	4	社会科資料室・多目的室・会議室等
鎌形小学校	54	6	5	1	学習室
菅谷中学校	374	14	12	2	会議室・進路資料室
玉ノ岡中学校	264	11	9	2	会議室・多目的室

『あれこれ通信』をごぶさたしてしまいました。皆さんに、嵐山町の情報をお知らせし、嵐山町が住みやすくなるように一緒に考えていただきたいという目的でつくっています。発行が遅れています。嵐山町犯罪被害者等支援条例を各自自治体でも試みてほしいと「被害者支援を創る会」を昨年の夏からつくり、被害者支援が、市民活動の一つになるよう啓発をおこなっています。十一月には、その活動等を出版します。

嵐山町定例議会は、9月7日～21日。一般質問は17・18・19日です。21日に議会人事を改選します。